

○13番 佐藤稟太郎君

泉中学校3年、佐藤稟太郎です。読書推進活動について質問します。

今年度からデジタル図書館が始まると聞いています。そのため、あまり読書をする機会がない僕も、これを機に本を借りてみたいと期待をしているところです。

そこで、行橋市の読書推進活動について、お聞きしたいことが3つあります。

1点目は、読書通帳についてです。現在、システムの変更で返却期限を表示したいときは、アカウントのLINE連携やログインが必要です。読書通帳があれば借りた日が通帳に記載されるため、返却する日を確認しやすいです。お年寄りやスマートフォンをお持ちでない方が返却期日を確認できるように、通帳発行の年齢制限をなくすことは可能でしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

佐藤議員のご質問にお答えしたいと思います。電子図書館の件について、ちょっと出ましたので、それについてご説明させていただこうと思います。

電子図書館につきましては、令和2年リブリオ開館当初よりあったのですが、今年度は学校向けに、たくさんの方が一度にアクセスできるライセンスがある電子書籍を夏休みから使用開始をいたしました。公共図書館とは別に議員がお持ちのタブレットに、小・中学生全員に付与しているアカウントを入力することにより、授業や読書の時間で一斉に同じ本を読むことができます。中学生の方は、授業や部活動以外の活動時間の確保が大変難しくはありますが、電子図書館や学校向けの電子書籍などは、図書館に出向かなくてもタブレットにて気軽に借りられるものでございます。ぜひ活用いただき読書活動に役立ててください。

それでは、議員のご質問にお答えいたします。ことし3月末、システム変更を行っております。リライト方式、つまり書き換え方針であった利用者カードをバーコード方式としたことにより、カード面の活字がなくなりました。カードの活字で借りた本や返却期日を確認しておられた方にとりましては、議員がおっしゃるとおり、リブリオ行橋ホームページにLINE、PC等を利用してログインの上、利用照会を行っていただく必要がございますが、LINE連携を行えばスマートフォンで利用者カードも表示することができ、利用照会についても容易に行えます。高校生以上の方におかれましては、お持ちのスマートフォン等の情報端末機器での利用を促進していきたいと教育委員会では考えております。

PC等、情報端末機器を利用できない方については、借りた日であればリブリオ行橋出

入口ゲート横に返却日のお知らせ表示を設置しております。また、返却日をはじめ本の冊数やタイトルといった貸出情報の確認につきましては、自動貸出機での照会画面にて確認が可能です。

行橋市では、読書に親しみ、読書の習慣化を図るとともに子どもの自主的な読書を推進するため、平成21年度より子ども読書活動推進計画を策定しております。現在は第4次計画に基づいて、市立図書館など各団体による推進を行っているところであります。読書通帳について、申し上げます。

行橋市子ども読書活動に基づき、読書の重要性を踏まえ、幼少期から読書習慣を身につけるための取り組みとして、中学生までに配布しているものであります。議員ご指摘の通帳発行の年齢制限をなくしたら、との御指摘でございますが、高校生以上の年齢の方の読書に対する自主性と予算のこともあり、情報端末でのご利用などを推進しておりますので、一般の方への配布の取り組みについては、現在、予定はございません。

リブリオ行橋での高校生以上の方々が借りられた資料の返却日の確認につきましては、館内掲示を工夫するなどして検討してまいりたいと考えております。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

佐藤議員。

○13番 佐藤稟太郎君

ありがとうございました。

2点目に、読書通帳の記入欄がうまり新通帳へ繰り越す場合の取り組みとして、読書をしたと思える取り組み、例えば賞状などを発行するなどを提案したいと思いますが、いかがですか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

ご提案、ありがとうございました。読書通帳については、通常、1冊使い切ったときに、おめでとう、のスタンプを押しています。繰り越しの際の、今ご提案のあった記念品についてですが、通帳そのものが読書の記録という勲章としての通帳と考えておりますので、表彰状など恒常的に景品を配布することについては、今のところは、予定はございません。

先ほども申し上げたのですが、読書通帳については、幼少期からの読書習慣を身につけるための取り組みの一環として始めております。読書は冊数の多さだけではなく、じっくりと本の内容に触れていただくことで、心の成長に役立つものだと考えております。読書通帳の記録を見て、子どもころに読んだ本を記憶に残していただければと思って

います。現状のままで行うことについて御理解をお願いしたいと思います。しかしながら、今後、読書通帳のさらなる利用者増につながるPRや取り組みについては、行ってまいりたいと考えております。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

佐藤議員。

○13番 佐藤稟太郎君

ありがとうございました。

最後に、新デザインの通帳やカードについての提案です。システムの変更でリライトの券面に、以前の貸し出し情報が表示されたままなので、一昨年の子ども議会でも取りあげられていたように、デザインの変更をされてはいかがですか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

カードの変更の件について、お答えしたいと思います。読書通帳に描かれているリブリオ君は、行橋市出身のスペイン・バルセロナを中心に活躍する画家・九十九伸一さんが、ふるさとの新しい図書館のためにと、デザインを寄贈していただいております。こちらは読書通帳をはじめ利用者カードや小学校の入学時にお配りしているブックバックにも使われております。また、昨年11月にはリブリオ行橋来館者100万人を記念し、九十九氏に2階の児童フロアのキッズスペースに地元出身のアーティストの方が寄与されたキャラクターを書いていただいております。その使用を継続してまいりたいと思いますが、議員が言われますように、今後作成する際には、2代目の読書通帳として、デザインについて検討してまいりたいと考えています。

また、利用者カードについてですが、新1年生にお渡しするカードについては、カバンの中でも見つけやすいように黄色い新デザインのカードを作成しておりますので、そちらをお渡ししておりますが、リライトカードについては裏面のバーコードをかざしていただければ利用可能であるため、現時点でお持ちの方については継続して利用をお願いしているところであります。

このカードについては、在庫が十分にありますので、一般の方の新規のカードについてはリライトカードをお渡ししております。バーコードの読み取りについて分かりにくいということも言われておりましたので、自動貸出機近くなどに読み取り方法の手順をお示しするなどをしてまいりたいと考えております。また、そういった場合については、リブリオ行橋の窓口にお申し出いただければ新しいものと替えさせていただいたり、議員の周りにもそういった方がいらっしゃいましたらお伝えしていただければなと思いま

す。どうぞよろしくお願いいたします。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

佐藤議員。

○13番 佐藤稟太郎君

ありがとうございました。以上で質問を終わります。